



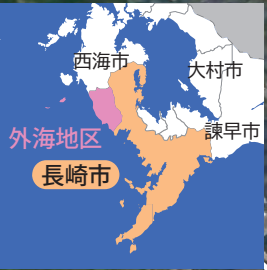
神浦城公園

1370年代に神浦氏が築いた山城跡の地形と周囲の景観を生かした公園。空堀跡や柱穴群の表示など発掘調査の成果を整備に取り入れており、歴史を感じることができます。



出津文化村

世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産「外海の出津集落」内にあり、外海歴史民俗資料館やド・ロ神父記念館、旧出津救助院、出津教会堂など、史跡や文化施設が建ち並ぶエリアです。



サイエンスリサーチ(P8)

長崎市遠藤周作文学館

作家・遠藤周作の代表作「沈黙」の舞台となった外海地区。角力灘を見下ろして建つ文学館には生前の愛用品や遺品のほか、生原稿や蔵書などが展示されています。



道の駅 夕陽が丘そとめ

長崎市唯一の道の駅で、角力灘を望む絶景の地にあり、特に夕陽の眺めは県内屈指の美しさです。地域の旬の農林水産物、ド・ロ様そうめんなどの特産や工芸品を販売する物産販売所やレストランなどがあります。



つたえるけん
長崎市



名も無い展望所

下大野自治会が管理・整備する展望所。角力灘の絶景が望め、石造りのテーブルとイスなどが備えられた憩いの空間です。



大中尾棚田

外海地区の山間に位置する約8ヘクタールの棚田で、約280年前に開墾。石積みなどの貴重な農村景観を残し、四季折々の変化を感じることができます。秋には「棚田の祭り」も開催されます。

晴れた日には五島列島の島影が見える長崎市外海地区。山も川も海もある自然いっぱいのまちに移住者の元気が吹き込まれています。

今月のつたえるひと **水野新**さん

東京都出身。2021年に長崎市地域おこし協力隊員(外海地区担当)として着任。愛知県内で有機農業関連法人で活動した経験を生かし、大中尾棚田保全組合の活動支援、水稲の無農薬栽培などを中心に活動。



自然が近く、人が温かい
一瞬で外海のとりこに

外海に移住する前は、岐阜県在住で、愛知県内の職場へ通っていましたが、子どもが生まれた時に、もっとのびのびと子育てができる環境に住みたいと思うようになり、2年ほどかけて移住先を探しました。西日本はほとんど回り、その中で唯一ピンときたのが外海です。自然の豊かさはもちろんですが、その時にたまたま町を案内してくれた人たちがとても優しく温かく、ここに住みたいと感じました。移住して2年になりました。子どもを連れて山や川、海へ気軽に遊びに行ける環境にとっても満足しています。



大中尾棚田での農業体験イベント

また、熱帯性のバジル「トゥルシー」を使ったハーブティーの商品化にも取り組んでいます。東南アジアやインドで良く栽培されているハーブなのですが、外海の気候にも合っていて、おいしくて体にも良いので、ぜひ外海の新しい特産品として育てていきたいと思っています。

昨年3月には、地元の方たちと協力して空き家バンク「ソトメヤ」を立ち上げました。1年余りで5軒の空き家を掘り起こし、全て入居者も決まりました。移住後もサポートできることがソトメヤの強みです。今後はこの事業を軌道に乗せ、移住・定住の促進を図り、外海地区の活性化につなげていきたいです。

外海地区のお土産

かんころ餅

潜伏キリシタン由来ともいわれる外海の特産品。さつまいもをスライスして天日干した「かんころ」を蒸して餅米と混ぜてついた餅で、ほんのり甘い素朴な味わいが特徴です。



問合せ:道の駅「夕陽が丘そとめ」
☎0959-25-1430

表紙のはなし『大野教会堂』

1893年に数戸の信徒のためにド・ロ神父が設計し、私財を投じて信徒とともに建てた石造りの小さな教会堂です。※見学は事前連絡が必要。内部は非公開
問合せ:長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産インフォメーションセンター
☎095-823-7650

鯉・来い祭り IN 神浦川河川公園

日本一の清流の一つに選定された神浦川で、地域の未来を担う子どもたちの健やかな成長を願って開催。こいのぼりをあげ、親子で楽しめるイベントや地元特産品の販売などを行います。



日時/4月30日(日) 10時~15時
場所/そとめ神浦川河川公園(長崎市神浦向町)
※こいのぼりの設置は4月30日~5月6日まで
問合せ:長崎市外海地域センター
☎0959-24-0211

遠藤周作生誕100年記念事業

長崎市遠藤周作文学館では、作家・遠藤周作の生誕100年を記念し、特別企画展の開催や文学館公式ガイドブックの創刊などを予定しています。詳しい情報は、特設サイトと公式SNSで発信しています。



問合せ:長崎市遠藤周作文学館
☎0959-37-6011

